

# 新規就農シミュレーション

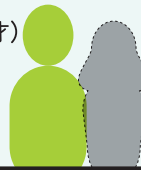
平戸に移住し

新規就農で

アスパラ農業を始める

Bさん(30才)

【家族構成】本人  
(6年後に結婚予定)



■自己資金 1,000,000円

■借入金 5,000,000円

⇒日本政策金融公庫より  
青年等就農支援資金を借入、  
無利子、2年据置の10年償還

■補助金 24,288,000円

⇒①新規就農者育成総合対策1,500千円×3年  
②平戸市もうかる農業実現支援事業900千円×2年  
③農山漁村振興交付金及び平戸市もうかる農業  
実現支援事業17,988千円  
計**30,288,000円**の創業資金

アスパラガス(導入シミュレーション)

- 初期投資 ▶ビニールハウス・連棟標準補強型...25,340千円 ※JAリースハウスの場合は無し  
▶ため池設置...400千円 ▶倉庫設置...700千円 ▶冷蔵庫1台...400千円 ▶動力噴霧機1台...550千円  
▶管理機1台...325千円 ▶軽トラック...1,300千円 ▶肥料費(堆肥含む)...656千円 ▶その他...743千円
- 資金利用 ▶青年等就農支援資金(公庫資金...5,000千円借入)
- 補助金の利用 ▶国及び県事業・平戸市もうかる農業実現支援事業  
(ハウス整備支援)※最大4/5支援...17,988千円  
▶新規就農者育成総合対策、平戸市もうかる農業実現支援事業(給付金)

年度	R5	R6	R8	R10	R15	R20
本人の年齢(才)	30	31	33	35	結婚・出産 40	45
就農歴	研修期間(就農準備)	1年目	3年目	5年目	10年目	15年目
経営面積(a)	0	20	20	20	20	20
反収(kg)	0	0	2,300	3,422	3,422	3,422
単価(円)	0	1,095	1,095	1,095	1,095	1,095
農業収入(円) A	0	0	5,037,000	7,494,180	7,494,180	7,494,180
農業経営費(円) B	0	1,818,521	3,825,688	4,627,984	4,210,214	3,406,254
うち肥料費	0	275,346	275,346	275,346	275,346	275,346
うち農業費	0	287,616	156,082	156,082	156,082	156,082
うち減価償却費 E	0	442,770	467,770	467,770	50,000	25,000
労働時間(h)	0	1,660	1,660	1,660	1,660	1,660
農業所得(円)A-B	0	-1,818,521	1,211,312	2,866,196	3,283,966	4,087,926
			大丈夫!!			
自己資金(前年度繰越金)	1,000,000	2,200,000	3,111,518	6,802,141	10,011,971	14,118,681
資金借入	0	5,000,000	0	0	0	0
補助金等の支援	2,400,000	1,200,000	1,950,000	0	0	0
その他収入計(円) C	3,400,000	8,400,000	5,061,518	6,802,141	10,011,971	14,118,681
初期投資等	0	3,675,000	0	0	0	0
資金償還(円)	0	0	500,000	500,000	500,000	0
生活費(家賃含む)(円)※	1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	2,680,000	2,680,000
その他支出計(円) D	1,200,000	4,875,000	1,700,000	1,700,000	3,180,000	2,680,000
			上々!!			
収支(円)(A+C)-(B+D-E)	2,200,000	2,149,249	5,040,600	8,436,107	10,165,937	15,551,607

※生活費は、6年目結婚、8年目に子供1人と仮定しています。労力は1人、収量が増えた場合に臨時雇用1人を想定しています。  
※ここでは、JAリースハウスの導入事例で経費計算しています。(初期投資金・減価償却費は減、賃借料は増となっています。)

## POINT

- アスパラは作業期間が実質9ヶ月。夏場の農繁期は収穫で大変忙しいですが、11~1月は作業が少ないです。
- アスパラは生長が速いので、いかに効率よく収穫するかがポイントです。収穫後は簡易な選別作業のみ行い、JA共同選果場に持ち込むだけでOKです。
- 栽培管理・収穫等は1人で作業できますが、ビニール張りなど、作業によっては臨時雇用等の助っ人が必要。
- 毎日の収穫作業(=管理作業にもなる)が向上することで、さらなる収量アップが可能です。(管内にも単収4t取りの事例があります。)
- アスパラは一度植えるとも長期間栽培できますが、改植することが難しいです。病害が入り込まないよう日々の栽培管理に注意しましょう。
- 苗価格付後、数年は株養成する必要があるため収量が少なくなります。この期間は、資金繰りに注意しましょう。(他品目の栽培も要検討。)
- 夏場の台風や、時折強く吹く季節風には要注意です。場所や地形によってはしっかりと防風対策をしましょう。
- 農閑期は作業が少ないため、ゆっくり過ごすことも可能ですが、他作物(プロックリー、スナップエンドウ他)を作ってもっと収入を増やすこともできます。

※参考...冬プロックリー(10aあたり所得107千円、所得率27%、労働時間93h)、スナップエンドウ(10aあたり所得387千円、所得率45%、労働時間344h)

平戸に移住し

新規就農で

イチゴ農業を始める

Aさん(35才)

【家族構成】本人・妻・  
子ども2人(7才・2才)



■自己資金 1,200,000円

■借入金 6,300,000円

⇒日本政策金融公庫より  
青年等就農支援資金を借入、  
無利子、2年据置の10年償還

■補助金 45,000,000円

⇒①新規就農者育成総合対策1,500千円×3年  
②平戸市もうかる農業実現支援事業900千円×2年  
③農山漁村振興交付金及び平戸市もうかる農業  
実現支援事業38,700千円  
計**52,500,000円**の創業資金

イチゴ(導入シミュレーション)

- 初期投資 ▶ビニールハウス(連棟標準補強型、高設栽培)...54,520千円 ※JAリースハウスの場合は無し  
▶ため池設置...400千円 ▶高設育苗棚・倉庫設置...1,800千円 ▶冷蔵庫1台...1,000千円  
▶動機・管理機...621千円 ▶軽トラック...1,300千円 ▶肥料費・農業費...733千円  
▶苗代...200千円 ▶その他...321千円
- 資金利用 ▶青年等就農支援資金(公庫資金...6,300千円借入)
- 補助金の利用 ▶国及び県事業・平戸市もうかる農業実現支援事業(ハウス整備支援)※最大4/5支援...38,700千円  
▶新規就農者育成総合対策、平戸市もうかる農業実現支援事業(給付金)

年度	R5	R6	R8	R10	R15	R20
本人の年齢(才)	35	36	38	40	45	50
就農歴	研修期間(就農準備)	1年目	3年目	5年目	10年目	15年目
経営面積(a)	0	20	20	20	20	20
反収(kg)	ゆめのか	0	3,569	7,138	7,138	7,138
単価(円)	0	1,222	1,222	1,222	1,222	1,222
農業収入(円) A	0	8,722,636	17,445,272	17,445,272	17,445,272	17,445,272
農業経営費(円) B	0	4,933,128	9,617,117	9,617,117	9,149,831	7,409,838
うち肥料費	0	253,198	228,534	228,534	228,534	228,534
うち農業費	0	480,074	429,424	429,424	429,424	429,424
うち減価償却費 E	0	531,571	595,857	595,857	128,571	64,286
労働時間(h)	0	4,638	4,638	4,638	4,638	4,638
農業所得(円)A-B	0	3,789,508	7,828,155	7,828,155	8,295,441	10,035,434
			大丈夫!!			
自己資金(前年度繰越金)	1,200,000	440,000	8,922,991	20,891,015	44,061,075	73,518,259
資金借入	0	6,300,000	0	0	0	0
補助金等の支援	2,400,000	1,200,000	1,950,000	0	0	0
その他収入計(円) C	3,600,000	7,940,000	10,872,991	20,891,015	44,061,075	73,518,259
初期投資等	0	5,121,000	0	0	0	0
資金償還(円)	0	0	630,000	630,000	630,000	0
生活費(家賃含む)(円)※	3,160,000	3,160,000	3,160,000	3,160,000	3,160,000	3,160,000
その他支出計(円) D	3,160,000	8,281,000	3,790,000	3,790,000	3,790,000	3,160,000
			上々!!			
収支(円)(A+C)-(B+D-E)	440,000	3,980,079	15,507,003	25,525,027	48,695,087	80,457,979

※生活費は、妻と子供2人がいると仮定し、労力は夫婦2人・臨時雇用1人を想定しています。  
※ここでは、JAリースハウスの導入事例で経費計算しています。(初期投資金・減価償却費は減、賃借料は増となっています。)

## POINT

- イチゴの収穫は11月から6月まで、特に収穫ピークの3~5月は早朝から夜遅くまで作業すること。作型を分散する工夫をしましょう。
- イチゴの収穫と併せてバック詰めを同時にする必要があるため、1名の労働力では対応できませんので注意。
- 年間を通じて作業に切れ目はありませんが、夏場は農閑期であり、余暇を過ごすことも可。
- イチゴは自家育苗をする必要があり、親株からその年に必要となる苗を育てます。病害を出さず、健全育苗することがポイントです。
- イチゴは適期作業が大事です。特に、花芽を着けてからの苗定植は9月中下旬に確実にできるようにしましょう。
- バック詰めは、とても重要です。経験とセンスが必要となりますので、先輩農家より助言をもらい、スピードアップできるようにしましょう。
- 近年、高設栽培システムの導入で作業性が向上しており、また環境制御技術の導入によって収量が向上しています。



※シミュレーションは一例です。実際は、各部会や平戸市他関係機関との協議を重ね、道筋を決定することとなります。

※補助金は大切な税金・公金を使用するため、誰もが適用されるわけではありません。面接・厳正な審査により決定されます。